



トリノネストアの Threads を読んで下さっている方はご存知かもしれませんが、2月の初旬から、なぜかせっせと焼き菓子を作っています。

僕は大体5年に一度くらいの間隔で定期的に「なんか知らんけど、あれをやりたい」って欲が出るタイプでして、それにハマるとずっとそればかりやってしまう人間なんです。でも、結果的にそれが後に仕事になったりもするので、「なるべく自由にやらせてあげる」という教育方針で自分自身をビシビシと育てています。で、僕なりに色々レシピを集めたり、道具を揃えたりして早速念願のケーキ作りをスタートさせたんですが、いやね、特に多くの男性にとって盲点なのが「おっさんが作ったケーキを食べたいって人はあまりいない」という深刻な年齢問題にぶち当たります。

なのでこうなったら、勝手に船岡駅周辺に作ったケーキを持って行って「キャロットケーキを、焼いたんだな」などと、裸の大将ぶったポスターを貼って、道行く人にそっとケーキを差し出したらどうかなと思ったけど、そんなもの、もらう人がいないよなど。

で、そうなるに残るは柴田町にいる知り合いの人たちの顔が思い浮かんだんですが、どう考えてもそのおじさん達は、みんな味音痴っぽい顔をしているので、「まあ、美味いんじゃないですか？」などと、なにそれみたいな感想しか言わなそうだよなと思ったけど、背に

腹は変えられないので、近所に住んでいる「TS」という友人にキャロットケーキを持って行きました。彼に、一口食べてもらった感想が「このケーキってスパイスが入ってるんだね、珍しいなあ。あ、スパイス入ってるーって思ってたなら、いつの間にかカレーのことを考えながらケーキを食べてたわ」という、謎過ぎる感想。僕はやはり持って行く人を間違えたなと思って後悔し「そっか、TS。もう二度とあんたにケーキは持ってきませんからね」と、ビシッと見事な逆ギレをかまして帰ってきました。

そして、その翌日には人生初のスコーンを作ったんですが、やはりそんな数日で味覚の優れた友人が出来るわけも無く、また懲りずにTSの所に持って行き「TS、スコーンって食べたことある？」と訊いたら、なんだかまるで（心外だ）みたいな顔をして「いや、スコーンは結構食べてるよ。というか、どっちかと言うと、かなり食べてる方だと思うわ」と、やけに雄々しく言うので、ああ、これは失礼しましたと思って、「ちなみになどこのスコーンをよく食べてるんすか？」と訊いたら「えーとね、あそこ。ケンタッキーフライドチキン！」と言うので「それ、スコーンじゃなくて、ビスケットだから！TS、もう二度とあんたにスコーンは持って来ませんからね！」と、2月の初旬に2日連続の逆ギレをかまし、僕はへとへとに疲れて帰ってきたのでした。



「この回覧板が皆さんのところに回っている時には、もうそのイベントは終わっているかもしれません」と書いたら、まるで夏目漱石の「こころ」みたいだなと思うんですが、3月1日と2日に、柴田町の葉坂の集会所で焼き菓子のイベントを開催します。

今回も、北海道の焼き菓子屋さんに出品して頂けることになりまして、3つのお店の方々にご協力を頂いています。北海道の中でも有名な焼き菓子屋さんの商品ですので、お近くの方はぜひぜひお立ち寄りください。

そして、4月にも2つくらいイベントをやる予定なんですけど、まだ色々と言えなさいけないので詳細は割愛しますが、そのイベントとは別に、ここ最近、思いっきり地域振興に振り切ったオンラインストアを開設してみるのも面白そうだなと構想しています。

現段階ではまだふわっとしたアイデアみたいなものなんですけど、利益を出すのはもちろんですが、そこにプラスで、すごい公益性の高い事業のようなことを一人でもそそやってみたいなと思いはじめています。

同僚のおふたり



リンリンの特徴として「自分一人なら行かないところ」に彼はなぜか行きましたよと言いき、なんとなく付いて行った結果、新たな発見をしたりしています。ちなみにここ最近の行って良かった場所は、「しばたの郷土館」

空き家対策の林くん2階でした。あそこ面白いっすよ



ゆずの出身は柴田町の大河原寄りの所らしいけど、もっと柴田町を知りたいと、槻木に引越したみたいです。船岡には船岡の良さがあるけど、なんか槻木って歩いてるだけでいろんな発見がある感じがして、僕もリンリンも最近よく槻木に行ってます。

ゆずさんの
SNS 達



前号で書いていたと思いますが、雨乞の柚子を入れた柚子ポン酢を作って頂けることになり、それは4月までには商品として正式にリリースが出来そうです。

先行販売という形で campfire にてクラウドファンディングもやってみようかなと思っていますので、もしも応援してみるかなあという方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加下さい。

毎年、冬は繁忙期でして、革の仕事をして、文章書いて、写真撮って、デザイン画を描いて、ミーティングをして、ということをして一人でぐるぐると仕事していると、色々な情報が頭の中に入ってきて、でもそういう時に限って「こんなのやったら面白そう」ってことが急に浮かんでくるから、なんとも面白いもんだなと思います。

ただ、3月はイベントや、北海道帰省があるので、その前に確定申告を終わらせなきゃいけないという、自営業者のひりひりした2月3月のお仕事事情でございます。



- 編集後記 -

先日たまたま、この新聞が回覧板に入っていないという地区の方にお会いしました。もしかしら読んで頂いて、回覧板に戻し忘れていらっしゃるのかもしれないので、お隣に回して頂けると大変助かります。

また、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、柴田町のホームページでこのトリノネ新聞のバックナンバーが全て閲覧可能になっています。

「シバ田トリノネ新聞」で検索したら、出てきますので、暇つぶしに読んで頂けると幸いです。

トリノネの Instagram → id : torinone.store

トリノネ新聞の設置場所一覧（敬称略）

柴田町役場 2 階、仙台銀行船岡支店、アウトドアズマン、柴田町の 4 つの郵便局、ナルミキッチンラボ

発行者：柴田町地域おこし協力隊 山田和史

ご感想やご依頼などは ⇒ info@torinone.com へ

オンラインストア ⇒ <https://www.torinone.com>